

東京文化財ウィーク2007のご案内

東京文化財ウィーク2007とは

東京文化財ウィークは、都内各地にある文化財を一斉に公開するとともに、文化財に関連した企画事業を実施し、より多くの皆様に文化財の大切さを知り、身近に感じていただくための事業です。

公開事業では、文化財所有者の管理のもと、通常では見ることのできない文化財の特別公開や、常時公開されている文化財でも、文化財ウィーク期間中は文化財の内容を紹介した「解説カード」を配布します。

企画事業では各区市町村教育委員会や文化施設等が中心となり、「文化財めぐり」、「特別展」、「講座・講演会」、「鑑賞会・現地解説」、「実演」など、文化財に関連した多彩な事業を企画します。

公開事業(9日間)

11月3日(土・祝)から11月11日(日)まで
*約400件の文化財を一斉公開予定

企画事業(2か月間)

10月1日(月)から11月30日(金)まで
*約180件の文化財関連企画事業を実施予定

文化財ウィークガイドブックの配布について

9月下旬頃に、文化財ウィークの全体を紹介した「文化財ウィークガイドブック」を、区市町村教育委員会や郷土博物館等に設置されているガイドステーションで無料配布します。

なお、見学・参加には、事前の予約・申込みが必要なものや、一部有料のものがありますので、事前に御確認下さい。

今年のオススメはコレ!!

勝鬨橋・永代橋・清洲橋

勝鬨橋は、昭和15年(1940年)に竣工した跳開橋で、重厚感のあるデザインが特徴的です。雄大なアーチ型の永代橋は大正15年(1926年)に、それとは対照的に優美な下垂曲線をみせる清洲橋は昭和3年(1928年)に、いずれも関東大震災後の復興事業の一環として竣工しました。

隅田川に架かるこれらの橋は、東京の近代発展の礎となったことはもちろん、日本の近代土木技術の発展にも寄与したことが評価され、平成19年6月に国の重要文化財(建造物)に指定されました。

橋の周辺には、その他にも名勝や史跡など文化財が多く点在しています。変わりゆく東京の水辺の風景を肌で感じながら、文化財めぐりを楽しんでみてはいかがでしょうか。

また、勝鬨橋には「かちどき 橋の資料館」があり、勝鬨橋の歴史や、橋に関する貴重な記録写真等が展示されており、文化財ウィーク公開事業期間中は、解説カードを配布しています。

- 公開日** 【勝鬨橋】【永代橋】【清洲橋】常時
- 所在地** 【勝鬨橋】中央区築地、勝どき【永代橋】中央区新川、江東区佐賀
【清洲橋】中央区日本橋中洲、江東区清澄
- その他** 解説カードは「勝どき橋の資料館」中央区築地6丁目地先(火・木・金・土曜日 9:30～16:30)にあります。



東京文化財ウィーク特別企画

東京都教育委員会主催の企画事業「江戸を体感する ～江戸の遊び～」

文化財庭園で江戸の暮らしと遊びを御紹介します。

- 日時** 10月27日(土)
- 会場** 都立清澄庭園 大正記念館(江東区清澄3-3-9)
- 内容**
 - ① 講演「武士の生活について」～遊び、行楽を中心に～
(10:30～12:00 定員120名)
講師 山本博文氏(東京大学史料編纂所教授)
 - ② 講演ほか「大道芸の講演と実演」～江戸庶民の娯楽～
(13:30～15:00 定員120名)
講師 上島敏昭氏(大衆芸能研究家、大道芸人)
 - ③ 公演「新内の実演と語り」～江戸町人の娯楽～
(16:30～18:00 定員120名)
公演者 富士松小照氏ほか
- 会場内ミニ展示「都内出土品にみる遊び道具」
泥めんこ、独楽、人形など
- 交通 地下鉄大江戸線・半蔵門線「清澄白河」駅下車徒歩3分
- 申込方法 ①から③の各講演、公演ごとに往復はがき(住所・氏名・電話番号を明記)でお申込み下さい。
- 応募締切り 10月17日(水)消印有効(応募者多数の場合は抽選)
- 申込み・問い合わせ先 東京都教育庁生涯学習部計画課
文化財保護係
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1
電話03-5320-6862
- その他 各講演、公演の参加は無料ですが、庭園入園料(一般150円、65歳以上70円)が必要となります。
各講演・公演に参加される方は、庭園入園料が団体割引料金になります。

—お願—文化財を見学するときは、マナーを守って見学しましょう。

詳細は、東京都生涯学習情報ホームページにも掲載予定です。 <http://www.syougai.metro.tokyo.jp>